

2020 年度 事業報告書



社会福祉法人ぶったあ福社会

I 全体総括

私達が障がいがある人と出会った 50 年前は、障がいがあれば施設で暮らすことが当たり前であり、幸せなことと思われていました。実際、障害者を終生保護する大規模施設コロニーができ、まだまだ地域で共に生きる考えが少数派であり、教育においても分離教育が中心でした。マイノリティな人達に対しても人権意識がまだまだ低い時代でした。

それでも、国内での人権の高まりや世界の流れが後押しとなり、2011 年 7 月に成立した改正障害者基本法で、目的や基本原則として

- ① 全ての国民が、障害の有無にかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるとの理念
- ② 全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現
- ③ 可能な限りその身近な場所において必要な日常生活又は社会生活を営むための支援を受けられること
- ④ 社会参加の機会の確保
- ⑤ どこで誰と生活するかについての選択の機会が確保され、地域社会において他の人々と共生することを妨げられないこと
- ⑥ 社会的障壁の除去

等が新法の理念として盛り込まれ規定されました。

これらのことは、「ぶったあ福祉会」が事業を展開する上でも基本となる考え方でなければなりません。また、厚生労働省は、昨年 11 月 27 日、障害者施設での利用者への虐待が増加傾向にあることから、事業所に「虐待防止委員会」の設置を 2022 年度から義務づける方針を示しました。虐待の大きな原因として、障がいのある人の「人権の享有」を尊重せず、困った人としてしか捉えられない側の問題があります。

特に福祉の現場においては、虐待や差別は隣り合わせにあります。ひどい時は、その認識さえ持たないまま対応してしまう危険性が常にあるということです。

「ぶったあ」のサービスを利用している人の対応についても、一人一人の違いを理解しながらその人の生活を支えなければなりません。実際、利用する人達の年齢も高くなり、それに伴い病気や持病で入院する人も増えています。家族の支援が受けられない人の対応もしっかりしなくてはなりません。彼らから信頼を得て、「ぶったあ」を利用して良かったと思ってもらえるよう努力していきましょう。

今年度、新型コロナウイルスの猛威の中で日常生活も大きな制限を受けました。研修等もほとんどできない状況であり、昨年度 50 箇所以上あったイベントは、今年度は 10 箇所もありません。

「ぶったあ」を利用する人達はイベントが大好きで、人と話をするのが大好きです。人は出会うことで学ぶチャンスがあり、変わるチャンスもあります。2021 年度は新型コロナウイルスの脅威が軽減でき、出会える場面が少しでも増えればと願います。

II 法人

1. 役員構成

(1) 理事・監事

- ・定数 理事 6 名、監事 2 名
- ・任期 2019 年 4 月 1 日～2021 年 6 月の定時評議員会
- ・理事長 中谷勇一
- ・理事 小南廣之、竹代久江、中村明裕、藤永憲、中谷秀子
- ・監事 加藤公朗、安藤眞一

(2) 評議員

- ・定数 7 名
- ・任期 2017 年 4 月 1 日～2021 年 6 月の定時評議員会
- ・評議員 岡田有美、関美恵子、永井満、松田和義、山谷育代、桑名泰広、平田國雄

(3) 評議員選任・解任委員

- ・定数 5 名
- ・任期 平成 2017 年 3 月 1 日～2021 年 6 月の定時評議員会
- ・委員 加藤公朗、安藤眞一、上野あけみ、西山満利子、伊郷眞一郎

2. 苦情対応関係

- ・苦情解決責任者 中谷勇一
- ・苦情受付担当者 繁田晴美
- ・第三者委員 海部伸雄、安藤眞一

3. 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会

回	開催日	内 容
第 1 回	2020 年 6 月 18 日	1. 開会挨拶 ※出席者の自己紹介 2. 定数確認 (定款第 9 条規程) 3. 議案内容 第 1 号議案 2020 年度決算書と事業報告の確認 第 2 号議案 次回評議員委員会を決議省略とする件 第 3 号議案 理事長の執行状況報告
第 2 回	2020 年 11 月 9 日	決議の省略 1. 提案事項 ◆議案名 ・2020 年度第 1 次補正予算報告書の承認の件

第3回	2020年 3月11日	<p>1. 議案内容</p> <p>第1号議案 理事、監事の任期満了に伴う同人の再任について</p> <p>第2号議案 ・今年度補正予算と来年度当初予算について ・来年度の事業計画について ・監事監査の時期について</p> <p>第3号議案 評議員の任期満了に伴う選任解任委員会の設置と交代の評議員候補の選定について</p> <p>第4号議案 商店街「花の店」老朽化に伴う改修工事について ・改修業者の選定（合い見積もりの手続き） ・工事予算等概要説明</p> <p>第5号議案 グループホーム「ここから」の増築工事について ・増築業者の選定（合い見積もりの手続き） ・工事予算等概要説明</p>
-----	----------------	--

(2) 評議員会

回	開催日	内容
第1回	2020年 6月19日	<p>決議の省略</p> <p>1. 提案事項</p> <p>◆議案名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度決算報告書の承認の件 ・2019年度事業報告書の承認の件
第2回	2020年 11月24日	<p>決議の省略</p> <p>1. 提案事項</p> <p>◆議案名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度第1次補正予算報告書の承認の件
第3回	2021年 3月25日	<p>決議の省略</p> <p>1. 提案事項</p> <p>◆議案名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度第2次補正予算報告書の承認の件 ・2021年度当初予算案の件 ・2021年度事業計画書案の件

4. 研修状況

開催日	開催場所	テーマ	主催者	参加者
2020年 5月16日	Web で動画配信	重度知的障害を伴う ASDの医療	信州大学 子供のこころ診療部	繫田晴美

7月17日	竹の子作業所	情報交流勉強会	島内作業所職員交流会	中谷秀子 中郡英二
7月21日	あわじ特別支援学校	支援学校事業所説明会	あわじ特別支援学校	赤松典嗣
7月26日	コムスタこうべ	優生保護法等勉強会	兵庫ピープルファースト	高辻芳幸 中郡英二
8月18日	フローラほくだん	Iさんの生活見学と意見交換	ぶったあ福祉会	高辻芳幸 古市みゆき
9月5日	南あわじ市中央公民館	子どもの発達に応じた指導	日本ポーター協会兵庫淡路支部	繁田晴美
9月18日	淡路市社会福祉協議会本部	日中サービス型 GH についての勉強会	島内作業所職員交流会	中谷／秀子 高辻／中郡
9月17日	西区文化センター	発達障害体験講座	NPO 法人そらしど	繁田晴美
9月25日	淡路市役所	淡路自立支援協議会基礎研修会	淡路自立支援協議会	赤松典嗣 繁田晴美
10月8日	南あわじ市社会福祉協議会	サービス管理責任者連絡会	淡路障害者自立支援協議会	赤松典嗣
10月17日	西宮市	仲間の交流会	兵庫ピープルファースト	高辻芳幸 藤井繭
11月12日	洲本市文化体育館	福祉専門職対象防災対応力向上研修	一般社団法人兵庫県社会福祉士会	繁田晴美
12月1日 3日	障害者支援センターぶったあ	障害者虐待防止法ミニ研修	ぶったあ福祉会	ぶったあ福祉会職員
12月1日	グループホームぶったあ	消防総合避難訓練（ハウス防火設備）	ぶったあ福祉会	メンバーと職員
2021年 1月30日	オンライン	障害者問題を考える兵庫県連絡会議総会	障害者問題を考える兵庫県連絡会	中谷秀子
1月30日	オンライン	人権シンポジウム	障害者問題を考える兵庫県連絡会	高辻芳幸
2月15日	障害者支援センターぶったあ	合同消防総合避難訓練（アイシンコンセルジュ）	淡路市教育委員会	メンバーと職員
3月8日	姫路商工会議所	兵庫県相談支援従事者初任者研修	兵庫県相談支援ネットワーク	高辻芳幸
3月13日	神戸市民福祉交流センター	ピープルファースト会議	兵庫ピープルファースト	高辻芳幸 藤井繭

3月27日	リモート	「ゆめ風」総会	認定 NPO 法人ゆめ風基金	中谷秀子
-------	------	---------	----------------	------

5. 職員状況（採用・異動）

	入職者		退職者	
	正規職員	非常勤職員	正規職員	非常勤職員
2020年 4月2日		男性1名		
5月7日		女性1名		
6月1日	男性1名			
10月21日		女性1名		
11月24日		男性1名		
2021年 2月28日				男性1名
在籍人数 2021年 3月31日	10名 内 男性8名 女性2名	28名 内 男性6名 女性22名	/	

6. 行事・イベント状況

2020年

- ★7月10日（金）「園芸福祉」（海峡公園）
- ★9月11日（金）「園芸福祉」（海峡公園）
- ★9月18日（金）「まちぐるみ健診」（保健センター）
- ★10月9日（金）「園芸福祉」（海峡公園）
- ★10月24日（土）「津名福祉まつり」参加
- ★11月13日（金）「園芸福祉」（海峡公園）
- ★12月11日（金）「園芸福祉」（海峡公園）
- ★12月16日（水）「ぶったぁクリスマス会」（みんなの家）

2021年

- ★1月8日（金）「園芸福祉」（海峡公園）
- ★3月12日（金）「園芸福祉」（海峡公園）

Ⅲ 法人が運営する事業

- ◆生活介護事業
- ◆就労継続支援B型事業
- ◆共同生活援助事業

◆相談支援事業

◆生活介護事業

<事業概況>

自立した日常生活または社会生活を営む上で、支援が必要な利用者に日中活動の場を提供することを目的としながら、その中で、日常生活上の支援として、排泄及び食事の介助、創作活動又は生産活動の機会の提供、日常生活における相談を行いました。特に建物の中での支援だけではなく、本人の希望を聞きながらできるだけ外に出て体を動かしたり、社会参加の機会を作ってきました。

職員はメンバー一人一人とより良い関係を作りながら、支援をしてきました。

2020年度は、主にグループホームを利用しているメンバーの病院への付き添う件数が増えました。白内障手術や持病による入院も続きました。入院や通院の同行、薬の把握、お金の管理等、日中の職員の仕事も増えています。日々のメンバーの体調管理など課題もあります。

職員の充実とスキルアップは次年度も大きな課題です。

1. 職員配置 (2021年3月現在、以下同じ)

	管理者	サビ管	嘱託医	看護師	生活支援員	合計
常勤職員	1	1			2	4
非常勤職員			1	1	8	10
合計	1	1	1	1	10	14

2. 利用者状況

定員	登録者数	障害支援区分					
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
20	17			1	8	6	2

年齢別						性別	
10代	20代	30代	40代	50代	60代	男	女
	3	3	5	3	3	14	3

	開所日数	延べ利用者	入所	退所
4月	21	282		
5月	20	266		
6月	22	301		
7月	22	313	2	
8月	23	318		

9月	23	321		
10月	24	334		
11月	21	298		
12月	22	311		
1月	20	269		
2月	20	279		
3月	22	310		
計	260	3,602	2	0

◆就労継続支援B型事業

<事業概況>

利用するメンバーに対して、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、その他の日常生活における相談などを行ってきました。

【授産活動について】

・「食堂ひとやすみ」

ホール・レジ・洗い場・料理づくり・掃除等の仕事があります。メンバーはそれぞれ得意なところの受け持ち仕事をしています。

※メンバーが仕事をするにあたり、内容にハードルが高いところもあります。誰もが仕事ができやすいようにするには、職員の配置も含め工夫が必要だと考えています。

・「パン工房」

自主製品である食パン・菓子パン・カップケーキ・クッキー等を作ります。それぞれの工程があり、得意なところを担当しながら仕事を覚えています。

パンは主に注文方式をとっています。対面販売はコロナにより、イベント中止や聖隷病院の玄関先での販売ができなくなり、今も続いています。

カップケーキやクッキーは、花の店や市内の観光施設や福祉施設に置かせてもらっています。又、イベント等で販売しています。今年度は、コロナによるイベント自粛により大きな影響を受けました。

・「花の店ぶったあ」

2000年に開催された国際園芸・造園博「ジャパンプローラ 2000(淡路花博)」が行われた翌年から歩み始めた「花の店ぶったあ」。岩屋商店街にあり、花の需要も多くありました。メンバーも、花の販売を通じてお客への対応や出会いの場としても賑やかでした。

年々、人口の減少や花の需要の減少と共に売り上げも下がる一方です。それでも、「ぶったあ」を知ってもらうことや地域とのつながりの場として商店街には、お店は必要です。これからもB型の仕事として、メンバーと共に盛り上げて行きます。

※2021年度「花の店ぶったあ」を改築します。メンバーからの要望や意見もあり、床、

壁、天井と出入口にドアを取り付け、気持ちの良い空間にします。花も売れにくくなり、花に変わる販売品を考えています。

・「草刈り」

注文を受けた場所(庭・田畑・空き地)の草刈りをします。主に春から秋にかけての仕事になります。草刈りは、コロナに関係なく仕事がたくさんありました。

夏の猛暑等を考えて、広く時間がかかる場所は断る方向で考えています。

・「淡路市からの委託」

絵島の掃除と中道橋の花壇の水やりの仕事がありました。岩のくぼみに長年の砂がたまって雑草が生えて来ています。今年度は掃除と共に、少しずつ土を運び雑草が生えないうよう努めました。

1箇所、草刈りの仕事もありました。

・「墓掃除」

件数は少ないですが、みんなで丁寧にお掃除をし、お花を供え、手を合わせます。お仕事をいただいたお礼も伝えます。

・「イベントでの販売」

毎年いろんなイベントに参加し、お菓子やパン、花等を販売しています。出会いの場でもあり、メンバーも参加を楽しみにしています。

※コロナの影響による自粛から大半のイベントが中止になりました。メンバーの「コロナやめてよ！」の叫びに対し、早く収まるよう願うばかりです。

・「市内配達」

毎週木曜日、淡路市内の公共施設、福祉施設、会社等に「ぶったあ」のカップケーキやクッキーを置かせてもらっています。

1. 職員配置 (2021年3月現在、以下同じ)

	管理者	サビ管	嘱託医	作業指導員	生活支援員	合計
常勤職員	1	1			2	4
非常勤職員			1	1	3	5
合計	1	1	1	1	5	9

2. 利用者状況

定員	登録者数	年齢別					性別	
		10代	20代	30代	40代	50代	男	女
20	17		2	4	8	3	12	5

	開所日数	延べ利用者	入所	退所
4月	21	226		
5月	20	216		

6月	22	278		
7月	22	270		
8月	21	252		
9月	20	246		
10月	23	278		
11月	21	257		
12月	22	254		
1月	20	238		
2月	20	244		
3月	22	271		
計	254	3,030	0	0

3. 工賃関係

水道
日用品
雑費
消耗品
事務費

		2020年度	2019年度	差額
生産活動収入	自主製品販売	9,722,707	11,312,103	▲1,589,396
	委託事業	128,161	120,528	7,633
生産活動支出	当期仕入高	3,169,051	3,903,839	▲734,788
	▶その他	2,255,937	2,535,000	▲279,063
工賃詳細	工賃総額	2,500,080	2,793,100	▲293,020
	延対象者数(人)	183	173	10
	平均工賃月額	14,100	14,969	▲869

◆共同生活援助事業（グループホーム）

<事業概況>

グループホームを利用する障害者につき、主として夜間帯に、共同生活住居において入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の支援やその他の必要な日常生活上の世話を行いました。又、生活等に関する相談及び助言、就労先やその他関係機関との連絡を支援してきました。

2020年度、グループホームを利用していた1名が一人暮らしを初めました。反面、家に帰れない人達が大半を占めてきています。利用者の高齢化もあり、病院に付き添う件数も増えています。白内障手術や持病による入院も続きました。又、高齢化による新たな支援も必要になっています。通院や薬の把握、お金の管理等々、職員の仕事も増えています。職員の充実とスキルアップは来年度も大きな課題です。

次年度、新しく3名の方がグループホームを利用します。緊急に住まいを探している方もあり、グループホーム「ここから」を増築し、部屋を1つ増やします。3ヶ所のホームは16名の当事者が利用することになります。大半の方が、元の家に戻るのが難しい人達です。休みの日の過ごし方など課題があります。ご支援とご協力をお願いします。

1. 職員配置

	管理者	サビ管	世話人	生活支援員	合計
常勤職員	1	1	3		5
非常勤職員			8	6	14
合計	1	1	11	6	19

2. 利用者状況

	定員	登録者数	障害支援区分					
			区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
いろは	6	5		1	1	2	1	
ここから	5	5				2	3	
歩歩	4	4			1	2	1	
合計	15	14			2	7	5	

	年齢別					性別	
	20代	30代	40代	50代	60代	男	女
いろは	1	1		2	1	5	
ここから		2	3			5	
歩歩			1	2	1		4
合計		4	4	4	2	10	4

◆相談支援事業

<事業概況>

2020年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、年度初めは、新規利用者の依頼は少なかった。少ない中での依頼に対して、利用者または障害児の保護者等の意思及び人権を尊重し、常に当該利用者等の立場に立って利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるように配慮して行った。夏以降は、順調に毎月新規の依頼があった。

来年度に向けては、北淡路に児童の新規事業所の開設が予定されており、新たな依頼の確保が見込まれる。

今後増加していく利用者への対応として、この事業の経験者の職員採用も決定している。相談支援専門員の2人体制の配置となることで、よりきめ細やかな支援の提供が実現できる。

1. 職員配置

- ・管理者（常勤職員） 1名
- ・相談支援専門員（常勤職員） 1名

2. 利用者状況

	障害者	障害児	左記内新規		延合計
			障害者	障害児	
4月	7	3	2		10
5月	8	3	1		11
6月	6	2			8
7月	5	2	3	1	7
8月	9	2	2	1	11
9月	12	4	1	1	16
10月	5	3	1	1	8
11月	7	4	1		11
12月	10	3	1	1	13
1月	9	2			11
2月	8	2			10
3月	5	4		1	9
合計	91	34	12	6	125

IV 2021年度に向けて

障がいのある人が自ら望む地域生活を営むことができるよう、支援の一層の充実を目指したいと考えます。

生活の場としての「共同生活援助」、日中の活動の場としての「生活介護事業」、仕事の場としての「就労継続支援B型事業」、相談先として「相談支援事業」。それぞれの事業の安定のためにも、利用する人達に対し、ていねいな対応と信頼を得るための行動が問われます。

新しい人材の確保と共に、個々のスキルアップも重要です。そのためには、研修等に積極的に参加できる環境が必要になります。

2021年度も「共に生きる社会」を目指して行動して行きましょう。

【花の店の店舗改修】

老朽化した店舗を改修して、集客数と商品の販売量をアップさせる。

【グループホーム「ここから」の増築】

緊急を要する利用希望者のために「ここから」の住居に1部屋増築し、定員を5名から6名に変更する。